

『知財創造教育セミナー第1～2回』

アンケート結果

回答数34件

設 問	選 択 肢	人数	割 合		備 考
・お立場	① 生徒（高校生）	7	21%		
	② 学生（大学生）	0	0%		
	③ 小学校教職員	0	0%		
	④ 中学校教職員	1	3%		
	⑤ 高校教職員	17	50%		
	⑥ 大学教職員	4	12%		
	⑦ 学校の教育活動と連携している民間	1	3%		
	⑧ 教育行政	3	9%		
	⑨ 行政	1	3%		
	⑩ その他	0	0%		
	・あなたの気持ちは？			参加前	参加後
① ワクワク		23	68%	31 91%	
② まあまあ		10	29%	2 6%	
③ しゅしゅ		1	3%	1 3%	
④ いやいや		0	0%	0 0%	
・本日の発表はあなたにとって有益でしたか。	① そう思う	30	88%		
	② ややそう思う	4	12%		
	③ ややそう思わない	0	0%		
	④ そう思わない	0	0%		
・本日を振り返って、一番印象に残っていることは何ですか。また、できれば、その理由も教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> 水産高校の取組の課題の先進性 水産高校の発表の中で説明された、養殖業が海を汚染する要因になってること。少し考えてみれば想像がつくことだけど、初めて知ったから。 籠原先生の「楽しく充実した高校生活を過ごして欲しい」という言葉。知財教育を受け高校時代を過ごし、50歳を超える歳になった教員が社会で活躍している話を聞くと久しぶりにワクワクしました。 先生のお名前は忘れましたが、最後の白髪の先生のお言葉が心にささりました。ここから頑張ろうと思えました。 水産高校のノウハウ、生産技術の高さです。稚魚から生み出す生産現場の強みをかんじました。 籠原先生の高校生や大学生への「学校生活を楽しもう」とのメッセージです。その実現のために我々教職員がいることを強く再認識できたため。 高校生が自分たちの活動を一所懸命に説明していたところ。そして、傍で温かくホロー&見守っていた先生の姿。 発言、コメント全て知財教育に関わらず取り組んでいる皆さんが新しいことにチャレンジする精神、楽しみながら活動しているということを感じることができたこと。 農業や工業の分野の取り組みの発表は視聴したことがありましたが、水産業の発表は初めてだったので様々な角度からの課題があるということが印象に残っています。 知財や地域連携を積極的に行おうとする学校や教員、それに乗る生徒の前向きな雰囲気。 水産高校の魚の解体ショーは見たことがありましたが、養殖について更にパワーアップされた取り組みをされていたのがとても印象的でした。知的財産教育の取り組みが、1人の担当者で終わることなく、他の先生方を巻き込んで実施されていることがとても印象的で、活力をいただきました。 水産物のブランド化を図るのがすごいと思った。今後の課題研究に参考にしようと思う 水産高校、農業高校の取り組み、または、各校の学科名そのものが今後の本校での取り組みのヒントになりました。 生徒の発表内容と籠原先生の御講話（いつも若々しく、行動的でいらっしやるので、元気をいただいています。） 生徒さんたちや先生方の実践や、工夫を共有でき、参加者が自身の実践に重ね合わせることができたこと。 全体を通して生徒の主体性が大事にされていると感じた。つい、解決策を言ってしまうようになるが待ちながら生徒自身の行動を促したい。 農業高校と工業高校の連携 基本的に担任がそのクラスの生徒の面倒を見るので、五ヶ瀬中学校さんの全職員が担当するということが素晴らしいなと思いました。 探求学習の中で、生徒に鶏の首をはねさせ、その後に食する体験をさせていることに衝撃を受けました。素晴らしい命を考えさせる取組だなと感じました。カメムシがおいしかったらすごいのにと思いました。 熊本農業高校の豚脂の活用。 身近な廃棄物から価値ある宝を生み出している。 指導している先生方の情熱 五ヶ瀬中等さんのお取組について、探究的な学びが他教科・科目に生かされる仕組みが素晴らしいと思いました。 カメムシを食べようと思われたところ。豚の油を使おうと思われたところ。問題に対してどうしようと考えられているところ。それらを実践し、科学的にも評価をされているところ。先生方も「待つ」・「助言する」・「コーディネートする」といった教育的 問いを大切にするという、考え方です。問いから、活動が始まり、自分自身を高めることにつながると実感しました。 気付きを大切に教育されていることで生徒に主体性が生まれていること。 				

『知財創造教育セミナー第1～2回』

アンケート結果

回答数34件

	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の方々の、前向きで立派な姿勢が一番印象に残りました。よりよい社会をめざす上で、SDGsにもつながる視点をもちながら、身近な課題等を設定され、研究を継続・実践しておられると思います。 豚脂を使った石鯨でそのような発想をし、実現されたことがすごいと思いました。 五ヶ瀬の先生と話させて頂きましたが、やっぱり教育とは待つこと（教員の我慢）だと再確認できました。 豚の油を石鯨にする中で鶏の餌にも繋げていたこと 五ヶ瀬教育学校さんの6年間かけて完成される教育です。主体的に課題解決することを生徒にまかせるのではなく、先生方による充実したサポートを受けることができる学校だと思ったからです。 生徒の充実感ある笑顔とコメント 探究を心から楽しみ、学びを深化させている様子が見て取れたから。 "シンデレラネオパーク"。知的財産権の取得・活用にも意識が向いていることは素晴らしい。 はてな貯金です。 楽しみながら、課題探索が出来る仕組みが秀逸だと思いました。 先生と生徒が同じ場において情報共有したこと
<ul style="list-style-type: none"> 本セミナー全体を通して、感想や気づきをお答えください。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の前向きさや、高校生のチャレンジしようとする姿勢が素晴らしい。 実際に現場にいる高校生や先生のお話にとっても説得力を感じたので、農業高校生である私たちが発表をすることで説得力が生まれるのではないかと考えた。 皆さんの素晴らしい取り組みに感心です。 大阪府立農芸高校は、知財サイクルも人的なサイクルも継続してきた土台の上に、持続可能性を感じる取り組みが素晴らしかったです。 知的財産を通して、生徒の体験・気づき・学び・充実した高校生活に繋がりたいです。 籠原先生のやる気を引き起こすお言葉、説得力に感服いたしました。 各高校生生徒間の意見交換を実施していただきたい。今の高校生は、外部から学ぶ機会が必要だと感じているため。 参加した高校生が、「これからも現在の活動を続けていきたい」「活動の中で気づいた事を発展させていきたい」という趣旨のことを言っていたが、自分たちも含めいろいろな発表に触れることで知財教育の一つ"気づきが大切だということに気づいた"ことが素晴らしいと思いました。 様々な視点で知財教育を知ることができた。 知財を目的としながらもその過程が重要であることを実感した。 部活動として専門分野をいかして他の学科と協力することで研究の幅が広がると思いました。研究はやって終わるのではなくやり続けることが重要なことがわかりました。私達もメロンの研究をしているので目標を立て挑戦し続けたいです。 参加しやすい時間で助かりました。 本研修に参加すると毎回感じるのですが、「例年通りではいけない」と自分を奮い立たせるきっかけになります。今回も校種を超えて、水産高校の発表を聞くことができ、また、府立農芸高校のレトルト食品も部活動として持続可能な形で実施されていることが印象的でした。本校も畜産科を中心としたプロジェクトチームが、学科を超えて同好会・部活動として活動できないか模索しているので、他校の状況も聞けて参考になりました。 発表会に参加したときよりももっと内容がわかるようになってもっといろんな高校の発表を聞きたいと思った 「新しいことに挑戦する。挑戦する事で、感動と疑問が出てくる。」 「中身のある楽しみ。その経験をたくさん積む。」など、学びの根底に通じる素晴らしいキーワードに触れることができました。 オンライン開催は、旅費が必要ないので、いろいろな方が参加しやすいと思いました。 参加者の立ち位置（生徒や指導者、研究者等）やステージ（知財教育への関わりや経験など）が様々なことが制約にならず、視点を広げることになっている点がこのセミナーの価値を高めていると感じました。 高校生からの発表がわかりやすく教員ではなく、生徒が理解しながら進めていることが感じられた。 教員同士での質問が生徒がいると聞きにくい、話しにくい場合もある。 中学校としてできることは何かと考えさせられました。ほとんどの生徒が高等学校、高等専門学校へ進学する中で土台づくりということを念頭に教育を進めていきたいと思います。 楽しい学びの継続であることが第1条件であるということがわかりました。すごいことをさらりと楽しそうにやっていることが、はたから見ているとチームの力なのだなと感じました。まねできる部分はまねしたいと正直に思いました。 先生の都合でなく、生徒の気づきを待つこと。生徒と先生の信頼感を感じました。先生の情熱指導や想いが生徒の気づきの背中を押している。 こうした取組が無理なく草の根的に必要 人材育成の切り口の一つが「探求」であり、「知財」であるなあと改めて思った次第です。 もっと初級の指導を行ってからでないと、生徒はついていけないかもしれません。これは教員も一緒かもしれないと感じました。 先生という立場の話も聞いて良かったです スマートに形にはめることが子どもの成長を阻害することにならないような配慮が必要。

『知財創造教育セミナー第1～2回』

アンケート結果

回答数34件

	<p>すばらしい御発表をいただいた両校の生徒・先生方に感謝を申し上げます。特に、生徒のために日々指導しておられる先生方の熱意や前向きな姿勢がよく伝わってきました。特に、五ヶ瀬中等教育学校の全寮制での生活は、寝食を共にする中で、家族同様の絆や友情が生まれるのでしょうね。</p> <p>皆さんがとてもフレンドリーに接して頂いて、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。</p> <p>非常に実のある研修でした。次も参加させて下さい。</p> <p>今まで意識してこなかった使わないものを使っていたところに驚いた</p> <p>豚脂石鹸の商標登録は、顧問の先生にお任せしていたことが多かったので生徒でも商標登録や特許について知る必要があると思いました。また、五ヶ瀬教育学校のカリキュラムは海外の学校で設置されていそうだと思います。私は初めて知ることが多く、自分の知識になることが楽しいです！</p> <p>教師と生徒がともに学校代表として参加し、質疑応答をともにおこなっている方法がとても素晴らしいと思いました。これまで参加した研修では、職員みの報告会のような形式が多かったので、このような形で進めることで、教師と生徒の探究に対する学びが共通して深まると感じました。</p> <p>参加者の熱量が高い。一方、現場での先生方のご苦労と大変さが推察される。課題を共有する意味でも本セミナーは有用である。</p> <p>他校の取り組みを知ることで とても刺激となりました。いろんな人の考えを知ることは、自分の知見を広げたり 次のステップへのヒントにもなると思いました。</p> <p>とても良い会だと思いました。</p>
<p>・次回開催に向けての要望や気づきをお寄せください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今度は、実践発表させていただけると助かります。 ・ たくさんの先生方と生徒との交流の場を作れたら嬉しいです。 ・ 対面での形が理想です。 ・ 鹿児島県の農業大学の学生が何でも良いので発表できたらいいですね。 ・ 前任校の方にも受講を勧めました。INPITの知財校支援事業採択校が聞けば、どのようなことをすると”楽しい”か、ヒントが得られると思いました。 ・ 多くの学校の取り組み事例は大変参考になります。 ・ 簡単な配付資料等がありましたら、ダウンロードできるとよいかもかもしれません。 ・ 実践をもとに、その取組のねらい、仕掛け、工夫などを、取り組んでいる生徒が感じたことや、先生方から見た手ごたえと合わせて共有、意見し合えるような構成であるとよいと思います。（まさに今回のような形なのですが） ・ 途中で生徒だけのルームで話をさせてみたい。 ・ 本校では地域の課題解決を全学年共通テーマとしています。しかし、学年ごとの繋がりが薄いので、有効的な方法がないかと思案しています。 ・ 今回は課題研究の生徒を誘いました。次回こそは教員も誘いたいと思っていますが、8月の勤務時間外や部活動全盛の時間帯は難しいのでより良い時間を期待しています。 ・ もっとたくさんの学校が参加出来れば多くの意見が貰えていいなと思いました。 ・ 感想にも記入しましたが、ぜひ教師と生徒がともに参加する構成でお願いしたいです。 ・ 是非とも次回開催を楽しみとしております。 ・ 自分のようなデジタルに弱い人間が、気軽に参加出来るんだということを、もっと認知、告知出来ると更なる活性に繋がると思います。
<p>・その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営ありがとうございました。 ・ 一緒に学習させてください。 ・ お世話になります。いつもありがとうございます。このような学びと出会いの場があることにただただ感謝です。 ・ 陳内先生だからできたセミナーですね。素晴らしいです。有り難うございました。 ・ セミナーの途中で急な電話対応があり、「退出」ボタンを押さずにやむを得ず離席してしまいました。お詫び申し上げます。 ・ お世話になり、ありがとございました。自席からの参加で話にくい点もありましたが、あえて別室でなく自席から参加することで「上席や周りの主事に見える、聞こえる」ように仕掛けました（笑）。直接実践ができない職に居ますが、学ばせていただければ申し訳ないので、何かお手伝いできることがあればおっしゃってください。おつかれさまでした、このような機会に感謝いたします。 ・ お忙しい中ご準備ありがとうございました。日々の忙しさに負けてできていなかったところに気づくことができました。 ・ 勉強になる機会を与えていただき感謝です。 ・ 生徒の生の意見を聞ける機会は、素晴らしいです。 ・ ありがとうございました。当面は見学のみとなりますが、ぜひ次回以降も参加させてください。 ・ ありがとうございました。 ・ 陳内先生、ありがとうございました。商標登録の出願者に関する質問や調べ方の解説なども大変参考になりました。 ・ 大変勉強になりました。ありがとうございました。

『知財創造教育セミナー第1～2回』

アンケート結果

回答数34件

	<p>これからの時代 多様性や課題探索が、より重要になってくると思います。 そのなかで、課題探索の学びの入り口にたてるようになるための下準備というか、きっかけ作りをどうしたら育めるかをもう少し工夫出来たらなと思いました。 動機付け、意識付けをどのようにしたら、もっと出来るようにするにかを、このセミナーを通して学びたいです。</p>			
<p>・発表希望についてお答えください。 (複数回答可)</p>	選 択 肢	人数	割 合	備 考
	① 生徒発表希望あり	3	12%	
	② 教員発表希望あり	2	8%	
	③ 民間・行政からの発表希望あり	1	4%	
	③ いまのところ希望なし	20	77%	
<p>・発表希望ありの方は、発表希望の時期とテーマを教えてください。</p>	<p>・ 2022年6月頃 廃棄物の有効活用</p>			
	<p>・ 2022年6月 学校農業クラブプロジェクト活動「エコフィード、豚脂の石鹸作成の取り組み」持続可能な養豚経営に関する活動</p>			
	<p>・ 具体的な取組事例</p>			
	<p>時期は特に拘りません。 ・ 探究の成果を活かした地域振興への貢献事例</p>			
	<p>・ 次はエコフィードの研究を発表したいです。宜しくお願い致します。</p>			